

2010 年度/春学期/火曜日/10:40-12:10/608 教室

環境経済・政策学

1. 講義の概要

本講義は、環境経済学の理論的展開から具体的な環境問題および環境政策への応用まで包括的に論じる。特に、環境政策の基本的な類型（直接規制・CAC、市場的手法・MBIs、自主的手法・VA）とそれぞれの特徴について論じるとともに、費用便益分析（CBA）や便益評価などの政策評価の基準や方法について論じる。

キーワード：環境経済、環境政策、費用便益分析、環境の価値評価、プロジェクト評価、政策評価、評価論

2. 講義日程

第1部 環境政策の基本的類型と環境問題

1. イントロダクション（環境問題と環境政策：大気汚染対策） 4/06
2. 環境政策の類型：直接規制 4/13、4/20
3. 環境政策の類型：市場的手法 4/27、5/11
4. 環境政策の類型：自主的手法 5/18、5/25
5. 環境問題と環境政策：地球環境問題 6/01

第2部 環境政策の評価

6. 費用便益分析 6/08、6/15
7. 環境の経済的評価 6/22、6/29
8. 環境政策の評価基準と評価方法 7/06、7/13

第3部 まとめ

9. まとめ・試験 7/20

3. 参考文献（＊は松岡研 web サイト：<http://www.f.waseda.jp/smatsu/>に PDF 版資料があります。）

日本の大気汚染経験検討委員会(1997), 『日本の大気汚染経験：持続可能な開発への挑戦』, ジャパンタイムズ（＊）

Committee on Japan's Experience in the Battle against Air Pollution (1997), *Japan's Experience against Air Pollution: Working towards Sustainable Development*, The Pollution-Related Health Damage Compensation and Prevention Association, Tokyo.（＊）

松岡俊二（2000a）, 「途上国における環境政策の効果的实施とは何か？」 『国際開発研究』, 9 (2), pp.11-36（＊）

松岡俊二・他(2000b), 「東アジアにおける社会的環境管理能力の形成について」, 『東アジアへの視点（国際東アジア研究センター）』, 2000 年秋季特別号, pp.92-105.

- Kochi, I., S. Matsuoka, M. A. Memon, and H. Shirakawa (2001), "Cost benefit analysis of the sulfur dioxide emissions control policy in Japan", *Environmental Economics and Policy Studies* (環境経済・政策学会英文誌), 4(4), pp.219-233. (＊)
- Memon, A. M. and S. Matsuoka (2002), "Validity of contingent valuation estimates from developing countries: scope sensitivity analysis", *Environmental Economics and Policy Studies* (環境経済・政策学会英文誌), 5(1), pp.39-61. (＊)
- 松岡俊二 (2007), 「第 13 章 環境評価」, 三好皓一 (編), 『評価論を学ぶ人のために』 世界思想社, pp.224-241. (＊)
- 環境経済・政策学会 (2006) 『環境経済・政策学の基礎知識』 有斐閣
- Field, B. and M. K. Field (2009), *Environmental Economics: an Introduction*, 5th ed., McGraw-Hill
- Matsuoka, S. ed. (2007), *Effective Environmental Management in Developing Countries: Assessing Social Capacity Development*, Palgrave-Macmillan, London
- 松岡俊二 (編) 『国際開発研究』 東洋経済新報社、2004 年
- 井村秀文・松岡俊二・下村恭民 (編) 『環境と開発』 日本評論社、2004 年

4. 環境経済・政策学ガイダンス

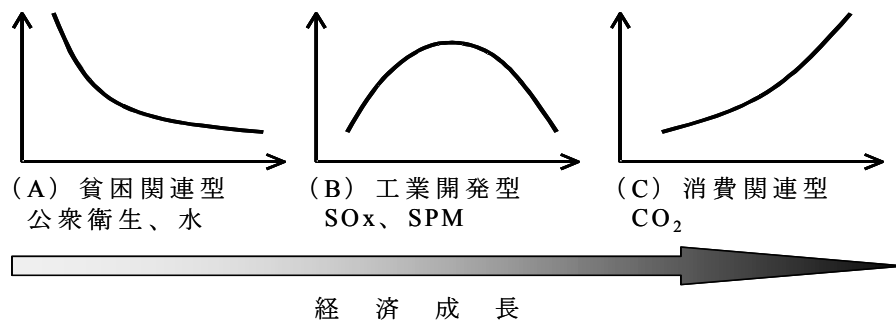
(1) 環境問題と環境政策

環境問題の評価 (被害・社会的費用の大きさ) → 環境問題の構造・メカニズム → 政策設計 → 政策選択 (費用便益分析など) ・ 政策決定過程 → 政策実施 → 政策評価

環境問題の類型: グリーン、ブラウン、地球環境問題

貧困型、工業型、消費型

図 1 経済成長と環境問題の類型



(出所) 松岡 (2004)、原図は Bai 他(2000)。

(2) 公共政策と環境政策

市場の失敗: 独占、公共財 (非競合性、非排除性) 供給、外部性

経済的規制と社会的規制

社会的規制と外部不経済

社会的規制: 交通規制、食品規制、医薬品規制、環境規制

新たな方向

総合的リスク管理: 健康リスクと生態リスク

市場の失敗、政府の失敗 → ガバナンス